

表3 プロジェクトゼミⅡルーブリック

ルーブリック(到達目標と評価)

	S(より高い目標)	A(到達目標)	B(最低ライン)
かかわる力	チームの中で自分の役割を十分理解し、主体的に活動することができる。 地域・連携先等外部への働きかけを念頭に置きつつ、目標達成に貢献することができる。 プロジェクトチーム全体の意見を総合して、課題解決に向けた意見を創出することができる。	チームの中で自分の役割を果たすだけでなく、チームが成果を出せるように他のメンバーや地域・連携先に働きかけることができ、その結果として、社会的に評価される成果を出すことができる。	主体的に活動し、地域・連携先と共同して取り組み、社会的に評価される成果を出すことができる。
学ぶ力	自分達の知識や技術レベル、予算等を考慮した上で、適切な材料や加工法を選択し、成果物を製作できる。 出処を明らかにし、適切な方法で得た情報を活かし、(技術者としての)倫理観に基づき、課題設定から解決に向けて取り組むことができる。	適切な方法で情報を収集、整理、活用することができる。チームで協力しながら目標に照らし合わせて適切な解決案を提示、議論してブラッシュアップして、プロトタイプを作ることができる。	さまざまな方法の中から適切な方法で情報を収集、整理することができる。チームで協力しながら目標に照らし合わせて適切な解決案を提示し、作品や模型、モックアップを作ることができる。
伝える力	活動の内容や成果について、相手の立場・状況・要求に応じた言葉を用いて、他者の意見や文献、調査を適宜参考にしながら自身の言葉で論理的に独自の見解を論述している。 聞き手からの質問に対し、適切な根拠を示した上で応えている。	自分の主張を発信するだけでなく、インターネットを通じた広報も行うことができる。チーム内で起きる問題点に適切に対応したり、人間関係を円滑にするためにリードすることができる。	自分の主張をプレゼン、文章などで発信し、相手を納得させることができる。チームで議論し、内容を掘り下げたり、関連する事柄について考えることができる。
見つめる力	活動計画を作成し、見通しをもち提案した解決策を実行している。 成果と課題を踏まえ、その計画や行動を修正・改善しながら、PDCAサイクルを進めている。	自ら締切やチェックポイントを設定して、計画を立て、実行し、振り返りを行うことができる。PDCAサイクルの中で活動を改善しながら進めることができる。	主体的にチームの活動を振り返り、PDCAサイクルを回すことができる。